

入所のご案内



社会福祉法人 平取福祉会
特別養護老人ホーム 平取かつら園

〒055-0107

沙流郡平取町本町17番地1

TEL 01457-2-3670

明るい長寿社会をめざして



《入所対象者》

- ◎ 要介護認定判定の結果、要介護3～5まで認定された方。
- ◎ 要介護認定判定の結果、要介護1～2の方で、市町村より特例入所の対象とされた方。
- ◎ 主治医より施設入所可能と診断された方。

《入所の相談》

- ◎ 当施設へ直接問い合わせや、入所相談等はお電話にてもお受けいたしますので（01457-2-3670）、お気軽に生活相談員を呼んでご相談して下さい。
- ◎ 平取町保健福祉課介護支援係・介護保険係を通じて申し込むことができます。

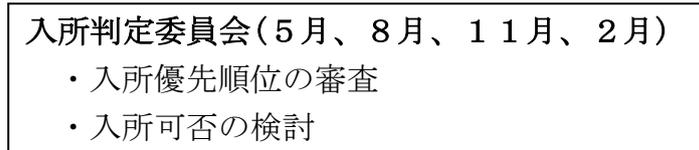
《入所申込の手続き》

- ◎ 入所に係る書類は当施設にご用意してあります。
 - ・入所申込書
 - ・入所申込調査票
 - ・診断書
 - ・要介護認定資料閲覧申請書
 - ・介護保険被保険者証(写し)
- 以上、5点の書類をそろえてお申し込みください。（郵送可）

《入所までの流れ》

入所申込受付





欠員の発生

入所優先順位上位の方の入所の可否を最終判断し打診します。

入所

- 入所優先順位は申し込み順ではありません。入所判定委員会開催ごとに順位を決定します。
- 判定の資料とするために、入所判定委員会の開催前に「判定調査票」をお送りしますので、返送願います。
- 判定調査票の返送がない場合には、申し込みの取り消しをする場合があります。
- 状況の変化により入所をお断りする場合があります。

《入所の意思確認について》

- ◎入所順番が来ましたら、電話等にて入所意思の最終確認の打診をいたします。確認できましたら、書面にて入所決定通知書を送付いたしますので必要事項をご記入の上、入所の際にご持参ください。
- ◎欠員の発生は予測のできるものではないため、入所の意思確認の打診については突然連絡が入ることになります。入所待機者が数多くいらっしゃることから、打診から入所まで長い期間お待ちすることは出来ませんのでご了承ください。また、このしおりの《入所中、ご了解願いたいこと》をご確認ください。
- ◎入所意思の最終確認の結果、入所を見送られた場合には次回以降の入所判定の対象とはせず、申し込みの取り下げもしくは判定保留者いたします。判定保留者となり再度、判定対象とするご希望がある場合には、その旨を平取かつら園までご連絡ください。(見送りから一年以上ご連絡がない場合には申し込みを取り消させていただきます。)

◎入所の際にご用意いただくもの

- ① 後期高齢者医療受給者証
- ② 身体障害者医療受給者証
- ③ 入院時食事減額証
- ④ 身体障害者手帳
- ⑤ 介護保険被保険者証
- ⑥ 印鑑（さんもんばん）
- ⑦ 入所される方の預金されている銀行名・口座番号を知らせて下さい。
（高額介護サービス費申請に使用します。）
- ⑧ 日常生活に必要な身の回り品(例)

品 名	数 量	品 名	数 量
パジャマ	3	バスタオル	3
スエット上下	3	フェイスタオル	3
洗面用具	一式	肌着	5
スリッパ又は上靴	1	普段着	3
電気カミソリ（男性）	1	外出着	—

- ※ その他状況により必要なもの
- ※ 衣類は、日常から着用しているもの
- ※ 寝具は一切必要ありません。
- ※ 持ち物にはすべて名前をつけて下さい。
- ※ 衣類の洗濯は、施設で行いますので、毛糸製品は避けて下さい。

《入所中、ご了解願いたい事》

1. 面会・訪問
 - ・午前8時30分から午後8時までの間、面会者は事務所窓口の面会簿に記入して下さい。
2. 外出・外泊
 - ・外出・外泊を希望される方、前日までに介護員室まで申し出て許可を受けて下さい。
3. 衣類の交換
 - ・居室の収納スペースが狭いので、できるだけ季節に合わせて衣類の交換をお願いいたします。補充や交換の際は介護員を通してお願いいたします。
4. 入院時の対応
 - ・病気等で入院した際の入院手続き・付き添い・洗濯物の対応は、ご家族にてお願いいたします。

5. その他の注意事項

- ・身元引受人の変更、連絡先の変更が生じた場合は、直ちにご連絡下さい。
- ・食品を持参された方は、必ず介護員を通して下さい。
- ・施設内での賭け事や入所者同士の金銭の貸し借りはご遠慮下さい
- ・施設内は禁煙となっております。
- ・協力医療機関は平取国保病院となっております。
- ・適切な介護サービスの提供が困難になった場合(入院が長期にわたる場合など)には、退所をお願いすることもあります。
- ・対応する職員数には限りがあり、マンツーマンでの対応は困難です。細心の注意を払うものの不慮の事故が起きることもあります。
- ・施設、職員に対するお心遣いはご遠慮いたします。

生きがいのある老後を支援します



